

操法大会で準優勝

西部地区代表に！ 名和分団

鳥取県西部消防ポンプ操法大会が6月12日に鳥取県消防学校で行われました。ポンプ車操法の部（参加チーム8チーム）に名和分団と大山第

1分団が出場し、名和分団は準優勝、大山第1分団は惜しくも上位入賞を逃しました。

個人では、優秀番員として名和分団の（指揮者）福島裕二さんが表彰されました。準優勝となった名和分団は

7月3日（日）に、鳥取県消防学校屋外訓練場（米子市流通町）で行われる県大会に西部地区代表として出場します。

誰でも観覧できますので、皆さまの熱い声援をお願いします。

消防団員は、町民の安全・安心を守るため、日々訓練を重ねて活動しています。



▶名和分団のみなさん



▶火点を攻撃する大山第1分団のみなさん

司法書士による「無料法律相談会」

- ◆日時 7月22日（金） 18時～20時
（※前日までに要予約）
- ◆場所 米子コンベンションセンター（第1会議室）
- ◆申込み・問い合わせ先 鳥取県司法書士会 ☎0857-24-7024

「裁判をやってみよう in 米子」

鳥取地方・家庭裁判所米子支部が小学5・6年生を対象に、夏休み企画を行います（参加費無料）。

◆日時 7月28日（木）

13時30分～16時10分

◆場所 鳥取地方裁判所米子支部（米子市西町62）

◆内容 模擬裁判、質疑応答、法廷見学など

◆対象 小学校5・6年生（保護者同伴）

◆定員 13人（先着順）

※事前に電話でお申し込みください。

◆申込み・問い合わせ先

鳥取地方裁判所米子支部庶務課

☎0859・22・2205

里山のめぐみ ④

みなさん、こんにちは。これから暑い夏がやってきますね。暑い夏を乗り切るためにも水分補給は欠かせません。

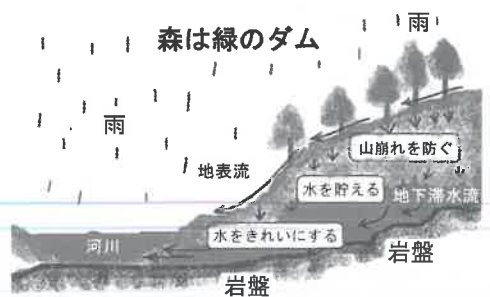
普段、何気なく蛇口をひねれば出てくる水。水道の蛇口から水が出てくるのは当たり前のことですが、この水をいつでも気にすることなく口にできるのは、水を供給してくれる森林があるおかげです。

「森は緑のダム」と言われます。なぜ、森がこうに言われるのでしょうか。

森に雨が降ると、まず木の葉に当たり、ほとんどの水は枝や幹を伝い、少しずつ地面に下っていきまます。降った雨が直接地面に当たるとはほとんどありません。

ゆっくり下った雨水は、一部は木々に吸い上げられて森を育て、残った水はじわじわと地中へしみこみ地下水となり、時間をかけて地面の中を流れ、再び地表へと湧き出てきます。

このように、山に森がある



ことで、降った雨は一気に流れ出さず、少しずつ少しずつ私たちのもとへと運ばれてきます。

山に森が無ければ降った雨は直接地表に当たり、山肌を削りながら一気に流れ出してしまいます。

いつでも水の恵みを与えてくれる森に感謝し、大切に育てていきたいですね。

森林や林業のことで、お気づきの点や疑問、質問がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

◆問い合わせ先

鳥取県西部総合事務所
日野振興センター
農林業振興課 普及担当

☎0859・72・2018